



## これからの人生の歩み方について考えました！！

5月3日（火）に、地域づくり支援センターにおいて、ボランティア清掃と中リーマナビ場を実施しました。中学生リーダー養成講座受講生（中学1年生）5人、光ジュニアクラブ会員（中学2年生～高校3年生）21名の参加がありました。

ボランティア清掃では、次の日に光市成人のつどいが実施される市民ホールの周辺のゴミ拾いや落ち葉集め、草抜きを中心に熱心な取組が見られました。また、中リーマナビ場では、今回の企画をされた和泉 宏さんが、山口大学、山口県立大学、山口学芸大学から各1名（1名が運営スタッフ）を集められ、大学生2名と企画実行委員や賛助員の3名の方が人生について大いに語って下さいました。



市民ホールの前の植木の中にあるゴミ拾いや落ち葉集め、草抜きを頑張りました。



約30袋のゴミ袋一杯にゴミや落ち葉などを集めることができました。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から1度もボランティア清掃を実施することができませんでした。今回の参加者は、意欲的にゴミ拾いや落ち葉集め、草抜きを意欲的に取り組みました。この活動を通して、「ゴミを捨てない人」や「ゴミを拾う人」をしっかり育てていきたいと思っています。以下は、参加者の感想です。

○たくさんのゴミを拾って心まできれいになった感じがしてうれしかったです。これからもボランティアをもっと頑張りたいです。

○ゴミを拾う人も大切だけど、ゴミを捨てない人が増えてほしいと思いました。

○思ったよりもゴミがあって驚きました。

○どんどんゴミを集めていると、何だか楽しくなってきました。

○まだ掃除がしたかったので、もっと清掃時間を増やしてほしいです。

○道路の端っこなどの、人から見えない場所にゴミがたまっていることに気づきました。

○一生懸命取り組むときれいになり、自分も気持ちよかったです。



5会場に分かれ、大学生や大人の人生について聞き、中高生から質問する場面もありました。



今回を企画された和泉 宏さんが、自ら人生について語って下さいました。

大学生2名、企画実行委員の仲山 哲男さん、阿部 則昭さん、企画賛助員の恵本 蒼一郎さんが、人生の歩みグラフ（人生の上り下がりeraをグラフにし、説明を加えたもの）を事前に作成され、ご自分の歩みについて会員に向けて語って下さいました。それぞれの講師の方のリアルな人生の歩みから、会員は多くの事を気づき、今後の実践につなげてくれることを期待しています。以下は、参加者の感想です。

○講師のお話から、友達や家族を大切にしようと思いました。

○誰でも、いつかは悩んだり、迷ったりするんだなと考えました。

○人生は思い通りにいかないことも多いかも知れませんが、自分の直感を信じて進むことの大切さを教えていただきました。

○人生は、つまずいてしまうこともたくさんあるかも知れないけれど、前を向いて生きていこうと思いました。

○失敗を恐れず、色々やってみることが大事だということが分かりました。

○普段当たり前に過ごせていることに感謝をもっとしていきたいと思いました。

## ボランティア清掃・中リーマナビ場を終えての感想 ※一部抜粋

○私は、何をやってもうまくいかず、「私って本当にだめなんだなあ…」と思うことも多くありました。今回の講師の方に、どんなにすごい人でも挫折することがあると教えていただき、挫折を頑張って乗り越えることの大切さも教えていただきました。

○今日の講師の方のお話を聞いて、失敗を恐れず、自分の行きたい高校に挑戦しようと思いました。自分になりたいものになるために、自分の心と向き合って努力しようと思いました。

○講師の方の話を聞いて、今、自分になりたい仕事がなくとも、今の自分が思っていることや、自分が感じていることを大切に、失敗を恐れずに挑戦していきたいと思いました。